



小城市立歴史資料館 ✿ 中林梧竹記念館だより

小城市立歴史資料館常設展示テーマ展 「春雨の作者 柴田花守」開催中

毎年4月第1土曜日に開催される春雨まつりにあわせて春雨の作者柴田花守の館蔵資料を紹介します。
※柴田花守 文化6(1809)年、小城町中町に生まれる。市では、毎年4月に花守を偲んで春雨まつりが行われます。

◆期間 ~5月14日(日)



◀柴田花守著「画学南北弁」

令和5年度古文書講座の受講生を募集します

◆日程 毎月第4土曜日 14時~

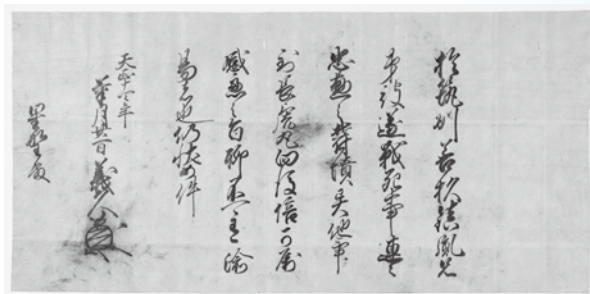
◆場所 歴史資料館 研修室

◆資料代 1,000円

◆応募期限 4月7日(金)

令和5年度は、「星野家文書」(小城市指定重要文化財)をテキストに使用します。

星野家に伝わった戦国武将や藩主の手紙を読みましよう。



▲島津義久書状

おぎの歴史探検隊

異形の石鳥居〈その6〉

笠石部の両端に丸味を持つという変わった形の「肥前鳥居」ですが、牛津町の内砥川八幡神社が最も早く建立がされたと考えることができそうです。市内では次が小城町の須賀神社(旧祇園社)、その次が小城町の牛尾神社の順番で建立が進められたと考えることができます。内砥川八幡神社が天正12(1584)年以前と考えられます。3番目の牛尾神社が銘文の紀年から慶長2(1597)年と分かっていますので10年ちょっとで石鳥居が3カ所で造られたこととなります。牛津町の生立ヶ里神社や小城町の岩蔵天山神社は慶長17(1612)年に造立されています。この時期にはこんなに石鳥居を熱心に建立した地域はそうはありませんでした。

この当初に造られ始めた肥前鳥居ですが、何故か

造る際には他の神社の位置を意識していた節があります。内砥川八幡神社の石鳥居は佐賀市の與賀神社の方を向いているように見えます。須賀神社と牛尾神社の肥前鳥居は内砥川八幡神社の方を向いているように見えます。偶然でしょうか？

偶然の可能性もありますが、要因があるかもしれません。慶長時代でも後半に建立された、生立ヶ里神社や岩蔵天山神社の肥前鳥居の向いた方向には他との関連性は無いようです。今後、肥前鳥居の向きを正確に計測して検討する必要があるかもしれません。(終)



▲小城市内の肥前鳥居

小城郷土史研究会／著

◆開館時間 9時~17時 ◆休館日 毎週月曜日・祝日 小城市ホームページから 梧竹・歴史資料館・文化財 検索
【問合せ・申込み】 歴史資料館 文化課(桜城館2階) 担当 下川・永田 ☎71・1132